

事務事業名	雲南市シルバー人材センター補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	総務G	課長名	梅木郁夫
施策名		(18)高齢者福祉の充実	担当者名	吉岡妙子	電話番号 (内線)
基本事業名	(051)社会参加活動の促進	予算科目	会計 款 項 目 中事業	雲南市シルバー人材センター補助金	
			0   1   1   5   0   5   2   0   7   6		

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき組織された雲南市シルバー人材センターが、就労の機会と場の提供を行なうことにより、健康で豊かな老後の充実をはかり、地域社会づくりに寄与することを目的に取り組む事業、活動に対して補助を行なう。	合併に伴い、平成17年度に雲南市シルバー人材センターが発足。高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき市から事業運営に対する補助を行なう。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
事業運営に対する補助金:7,400千円	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	9,800	9,000	7,400	7,400		
	事業費計(A)	千円	9,800	9,000	7,400	7,400	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	単位						
申請書の受理・審査・補助決定・補助金交付・実績報告(審査)・補助確定	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	4	4	4	4		
	人件費計(B)	千円	15	16	16	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,815	9,016	7,416	7,400	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 人材センターの申請に基づき、補助を行う。 申請書の受理・審査・補助決定・補助金交付・実績報告(審査)・補助確定	⑤ 活動指標							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 前年度と同じ	ア 補助金額	千円	9800	9000	7400	7400		
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	シルバー人材センター会員	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 65歳以上の高齢者数	人	13990	13760	13711	13720		
	高齢者が就労を通して、健康で豊かな老後を送れるようにする。	イ 人材センター正会員数	人	466	476	444	450		
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	生きがいを持って、いきいきと暮らす。	ア 就業延人数	人	30077	31584	31804	32004		
		イ 就業率	%	91.6	92.6	94.4	94.4		
		ウ 作業契約金額	千円	151842	151403	149279	149579		
		⑧ 上位成果指標							
		ア 地域と交流があると感じる高齢者の割合	%	66.1	76	75.1	75.1		
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているのか?
高年齢者等の雇用の安定等に関する法律により事業を実施している。対象者も微増し、また作業契約の金額も伸びてきた状況にある。運営費補助単価限度額が毎年減額されてきている。	安全作業の徹底を図るため平成21年度から安全研修と作業現場の安全パトロールを実施し、安全に対する意識高揚に努めた。	事業対象者からは、当面経営が安定するまで補助額を維持して欲しいとの意見が寄せられている。

事務事業名	雲南市シルバー人材センター補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	-------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく。 高齢者の働く機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりや、所得向上等が図れている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく。 人材センター事業は、高齢者の就労の場の確保や福祉の向上に繋がるものであり、その経営基盤の確立を図る必要がある。また就労を通じ、生きがいづくりや医療費の軽減を図ることが出来る。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 個人の収入額等を見ると、県内比較でも低く、受託量、金額等の増加を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づいており、廃止・休止はできない。 補助金以外の収入は受託費の一定比率であり、受託金額が低く補助の廃止は困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 他に同様な事業がない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 国庫補助基準額に準じて市からの補助を行なっている。 補助の減額は事業運営に大きく影響することから、当面は困難である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 現在は補助金の交付事務を主としており、活動内容等の指導を行っていない。 今後、補助の効率性から事業内容等の見直しの指導等を行うことにより、事務量の増が発生する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく。 高齢者福祉対策事業であり、受益者も多く受益者負担は公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢化が進行する中、働く意欲のある高齢者の就労機会を提供することは、生きがいの創造や個人収入に繋がっている。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 経営基盤の安定にむけ、財政計画に基づく健全運営が図られるよう指導を行なう。																							